

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	R3 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	学びの県づくり						
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり			2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進んでいる。 ○寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。 【これまでの取組】 ○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、令和2年11月2日現在、農学部で117人の学生が学んでいる。 ○令和元年度卒業生は自営就農や農業法人への雇用就農、農業協同組合、農業関連企業に就職し、多くの卒業生が本県農業の振興のために活躍している。 ○平成26年度からは、企業的農業経営体の育成を目的とした実践経営者コースを開設したほか、農業経営コースの農家実習の拡充（24日→45日）、外部講師の充実等、農大全体の就農率向上のため、農大改革を進めており、就農率は35.4%（H26）から55.6%（R1）と向上している。 ○平成30年度から農産物輸出を見据え、総合農学科でGLOBAL GAP取得支援を含むGAP講義を開始し、令和元年度からは先端技術に対応できる人材を育成するため、スマート農業に関する講義を開始しており、令和2年度は農業機械メーカーと連携し、最新のスマート農業機器を使った授業を実施。	
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	課 題 農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組(予定)	【農業大学校スマート農業機器整備事業】 ○次代の担い手育成・確保に向けた農業大学校の充実 <ul style="list-style-type: none"> スマート農業の導入を加速化させるため、農業大学校研修部にスマート農業施設・機械等を整備し、農業者向け体験講座の充実を図る 整備内容：水田水管理用水位センサー6台、環境制御型パイプハウス1棟、ラジコン式草刈機1台
--------------------	---

指標の状況及び目標値【↑:改善、↓:悪化、→:変化なし】							区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度
1	農学部 卒業生就農率(%)	63.0	55.6	↓	50.8	↓	67	当初予算	73,403	72,900	69,622
2	研修部 けん引免許取得率	100	99	↓	98	↓	98	補正予算		-303	11,295
3	研修部 大型特殊免許取得率(%)	100	100	→	100	→	99	合計(A)	73,403	72,597	80,917
4								うち一般財源	43,750	45,958	43,810
5								決算額(B)	70,206	68,133	
								職員数(人)	30.0	30.0	30.0
成果指標設定理由	①本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定。 ②～③研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、「受講者免許取得率」の向上を成果指標に設定。										

事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	-----------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算	
				当初予算	補正予算
1	農業大学校運営費			49,497	
		計	50,589	計	48,758
		千円	千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科では、先端分野であるスマート農業の授業を拡充する。 平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算	
				当初予算	補正予算
2	実科・研究科費			7,562	
		計	6,883	計	7,679
		千円	千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算	
				当初予算	補正予算
3	研修部費			9,667	
				11,295	
		計	10,673	計	10,207
		千円	千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	研修部費	直接	里親前基礎研修及び里親研修、農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。
2	スマート農業機器整備事業費	直接	スマート農業の導入を加速化させるため、農業大学校研修部にスマート農業機械等を整備し、農業者向け体験講座の充実を図る。

細事業 No.	細事業名	R1年度 最終予算	R2年度 最終予算	R3年度 予算	
				当初予算	補正予算
3	農業大学校施設整備費			2,896	
		計	6,258	計	6,256
		千円	千円		千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	農業大学校施設整備費	直接	松代キャンパス教室の空調設備工事及び公用車の更新を実施する。